記者発表資料

平成30年2月26日

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

鷹巣大館道路（大館能代空港IC～鷹巣IC）
3月1日『防災訓練』を実施します
～国土交通省と関係機関が合同実施～

３月２１日（水）開通の鷹巣大館道路の大館能代空港インターチェンジ（IC）～鷹巣インターチェンジ（IC）間において、開通に先立ち、交通事故が発生した場合の、関係機関への情報伝達、交通規制、救助等の防災訓練を国土交通省と関係機関が合同で実施します。

〇訓練日時　：　平成30年3月1日（木）10時00分～11時00分
〇場　　所　：　鷹巣大館道路　大館能代空港IC～鷹巣IC間
　　小森川橋付近（北秋田市脇神地内）
〇訓練概要　：　別紙－1のとおり
〇会場案内　：　別紙「会場案内」のとおり
〇参加機関　：　秋田県警察本部高速道路交通警察隊、北秋田警察署
　　北秋田市消防本部
　　能代河川国道事務所

※留意事項　：　取材の方は鷹巣IC(別紙「会場案内」参照)に集合していただき、会場までは係員が案内いたしますので、指示に従っていただきますようお願いいたします。

記者発表先：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所

副所長（道路担当）　木村　恭一　（内線205）TEL　0185－70－1001(代)

別紙－１

訓練概要

１．訓練目的

本訓練は、鷹巣大館道路〔大館能代空港 IC～鷹巣 IC 間〕における事故が発生した場合に、関係機関の連携・支援によって速やかに救助及び事故処理活動を行うことを目的に実施するものである。

２．訓練想定

大館能代空港ＩＣから小坂方面に向かって走行していた車両が冬季地吹雪による視界不良により停車した軽自動車に後続車の普通乗用車が追突し、軽自動車が中央分離帯に衝突。

３．日時・場所

平成３０年３月１日（木）　１０時００分～１１時００分

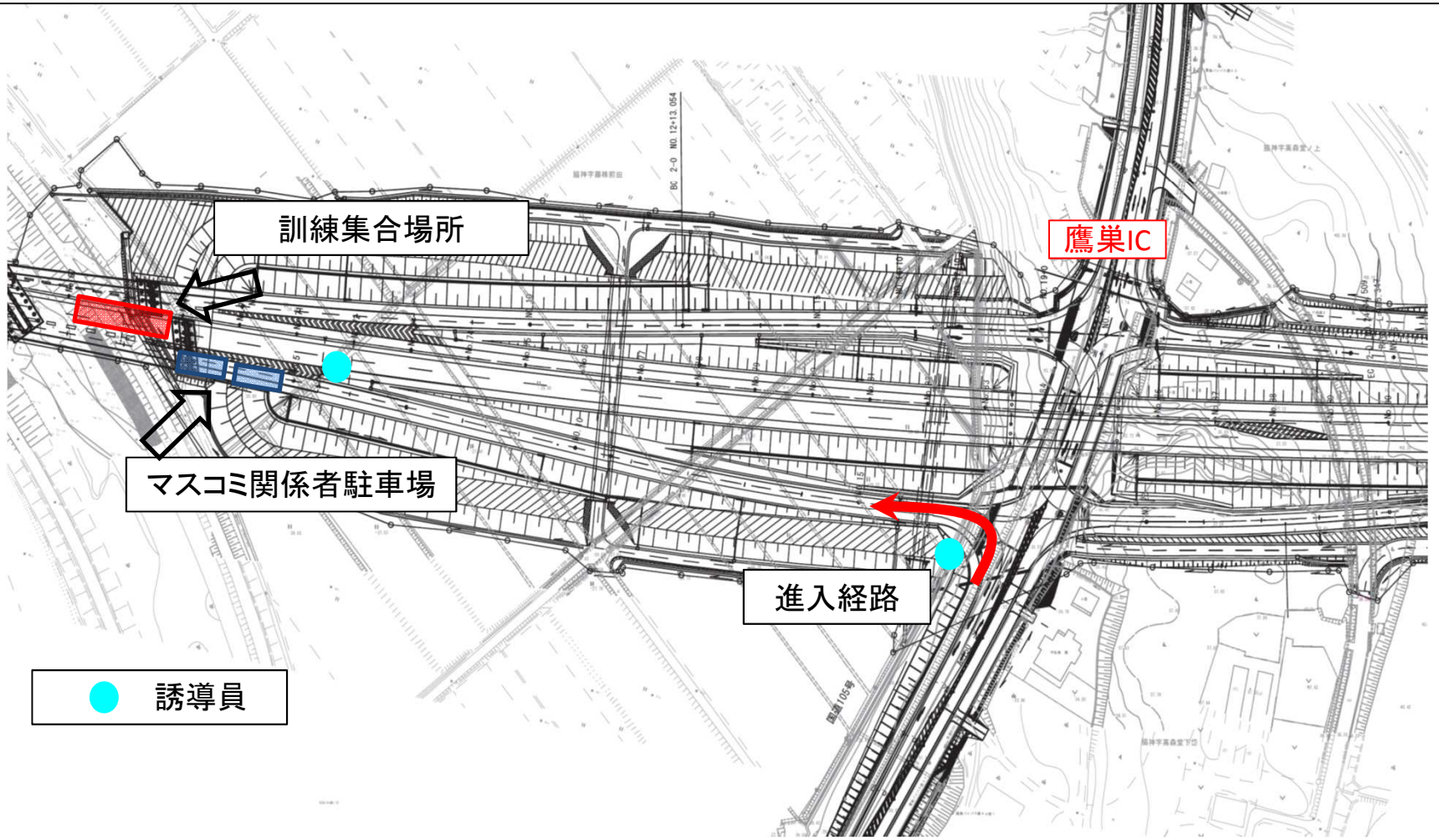
秋田県北秋田市脇神　地内　小森川橋付近

※取材の方は、鷹巣 IC（別紙「会場案内」参照）に集合いただき、会場までは係員が案内いたします。

なお、災害又は重大事故の発生、又はその恐れのある場合は、参加団体協議のうえ訓練を中止する場合があります。

防災訓練　会場案内・集合場所

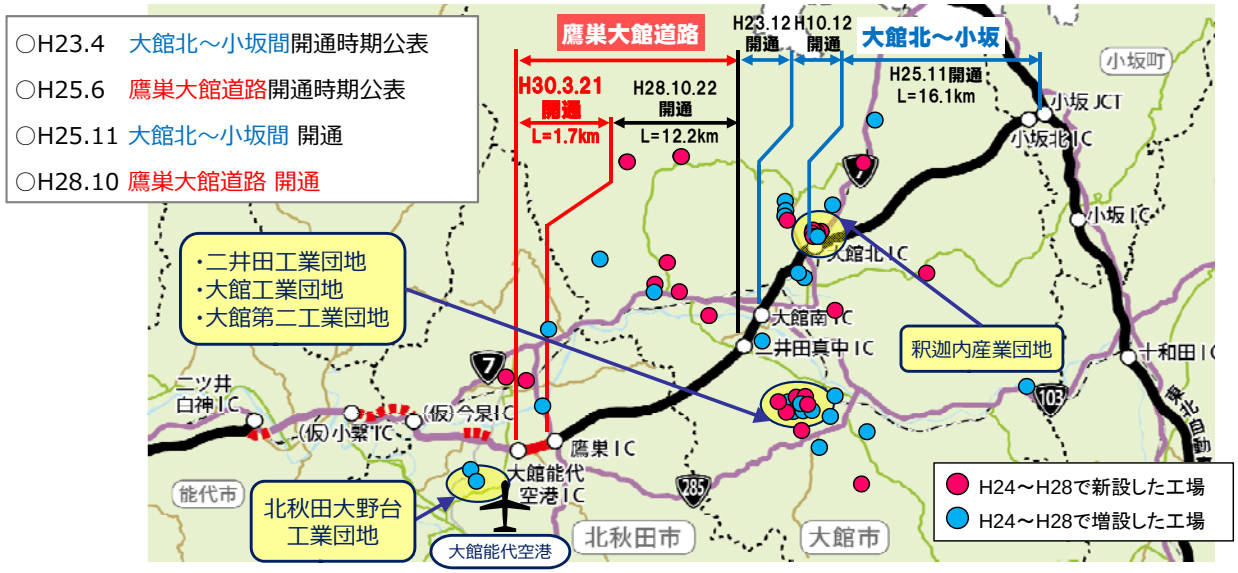
※鷹巣ICに集合していただき、会場までは係員が案内いたしますので、
指示に従っていただきますようお願いいたします。

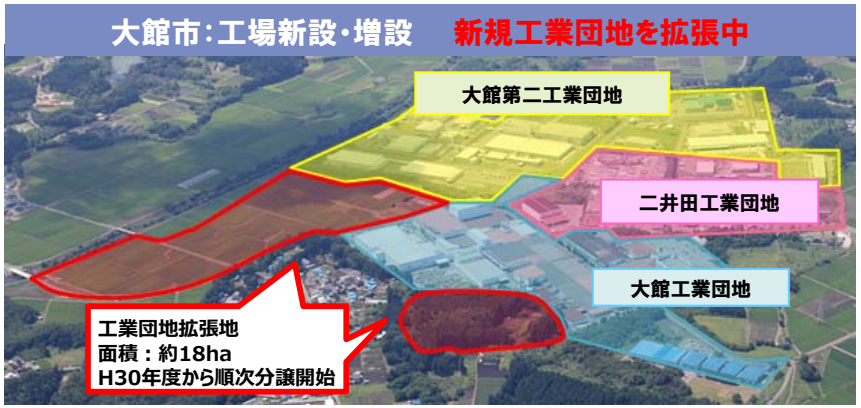


進むネットワーク化が県北の企業進出・新規雇用を後押し

●日沿道の開通時期公表や開通延伸に伴い、北秋田市ではH22年度から8年間で12社が工場を新増設し、新たに128名の雇用が創出。大館市も同様に工場の新増設が急増、総所得額が増加するなどの効果が発現しています。
●今回の開通により、継続的な産業活動の後押しが期待されます。

■大館市・北秋田市の近年における主な新設・増設工場





●日沿道の整備が進んだことにより、市内の**工業団地の立地上の優位性が増し**、企業から**工場の新設や増設に伴う問合せが増加**、**H29年度も数社より問合せを頂いています。**　（大館市 産業部 ／ H29.10ヒアリング）



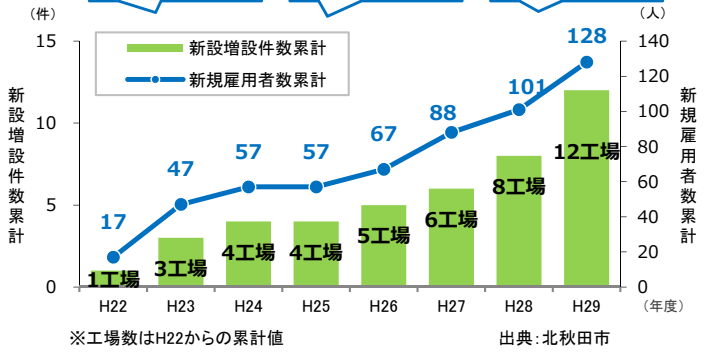
◆大館市の経済への影響（H24年度～H28年度）・投資額 **約598億円**・経済波及効果 **約1,205億円***

*H24年度～H28年度の各年の経済波及効果額の総和　出典：大館市

■北秋田市の新増設件数と新規雇用者数*1の推移

8年間で12社128名の雇用を創出

*1：正規雇用者数

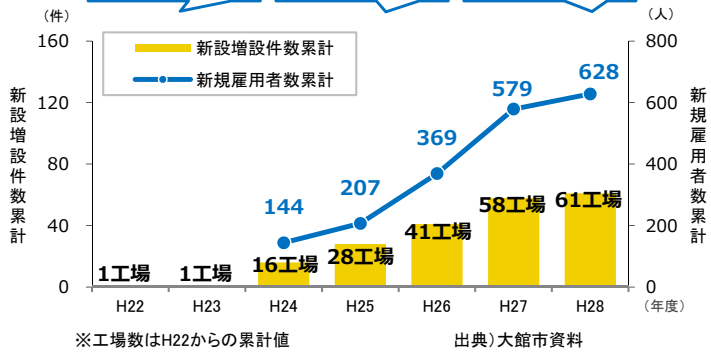


※工場数はH22からの累計値　出典：北秋田市

■大館市の新設増設件数と新規雇用者数*2の推移

61工場が新増設

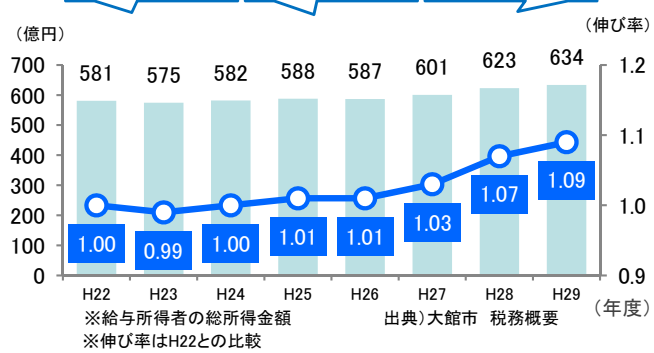
*2：パート含みの雇用者数



※工場数はH22からの累計値　出典）大館市資料

■大館市の総所得額の推移

総所得額が増加

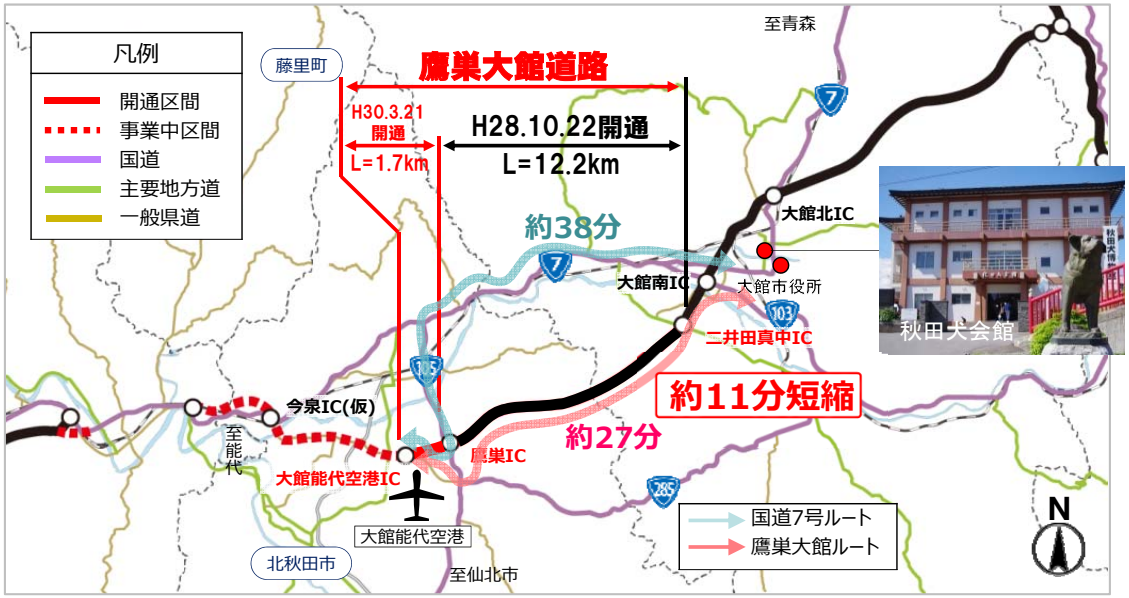


※給与所得者の総所得金額
※伸び率はH22との比較
出典）大館市 税務概要

空港との連携による広域周遊観光を支援

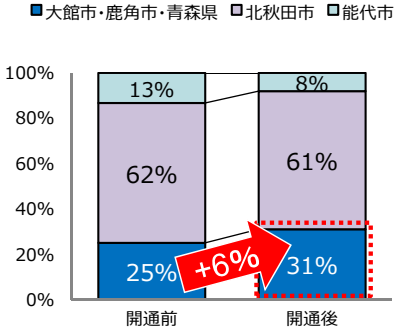
●日沿道が延伸し空港から北東方面の地域の利用者が増加し、所要時間が短縮した大館市内の観光施設では入込客数が約１．５倍に増加
●空港と高速ネットワークのアクセス性の向上により大館能代空港を拠点とした広域観光ツアー企画数が約５倍に増加
●今回の開通により、更なる観光振興・空港利用促進が期待されます。

■大館能代空港～大館市役所間の所要時間の変化



■空港利用者の方面別内訳

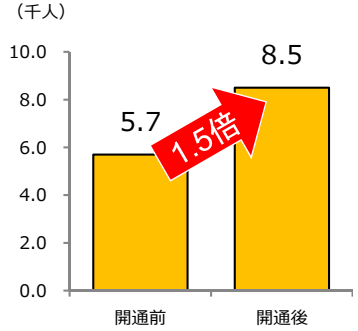
大館市方面の割合が増加



*出典：「混雑統計®」(C)ZENRIN Datacom.co.LTD」

■秋田犬会館の入込客数

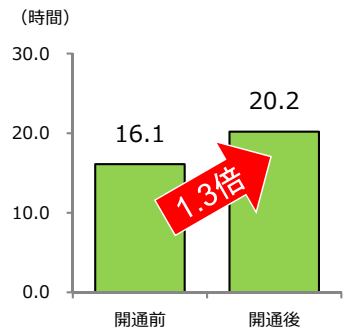
入込客数が約１.5倍に増加



出典：大館市提供

■空港利用者の大館市の平均滞在時間

平均滞在時間が約１.3倍に増加



*出典：「混雑統計®」(C)ZENRIN Datacom.co.LTD」

＊「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

大館能代空港を起点とした観光周遊ツアーが増加

■大館能代空港を起点とした観光周遊ルート



出典）旅行代理店Ａ社

日沿道整備により東北各地を巡る周遊観光ルートが形成

青森県



弘前公園桜まつり

岩手県



平泉

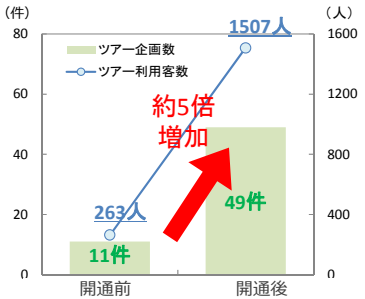
●**日沿道の整備が進んだことで**、大館能代空港に降りれば、東北ゴールデンルート（平泉等の広域観光）等の**ツアーを組めるようになっており**、**関連するビジネスも好調**です。

（空港施設事業者／H29.9ヒアリング）



■旅行代理店A社のツアー企画数※１・参加者数

ツアー数が約5倍に増加



出典）旅行代理店Ａ社

●新しく道路が整備されたことで、**観光ツアーが組みやすくなりました**。

●利用したお客様からの反響も大きく、**ツアー参加者が急増**しています。

（関西方面の旅行代理店／H29.9ヒアリング）

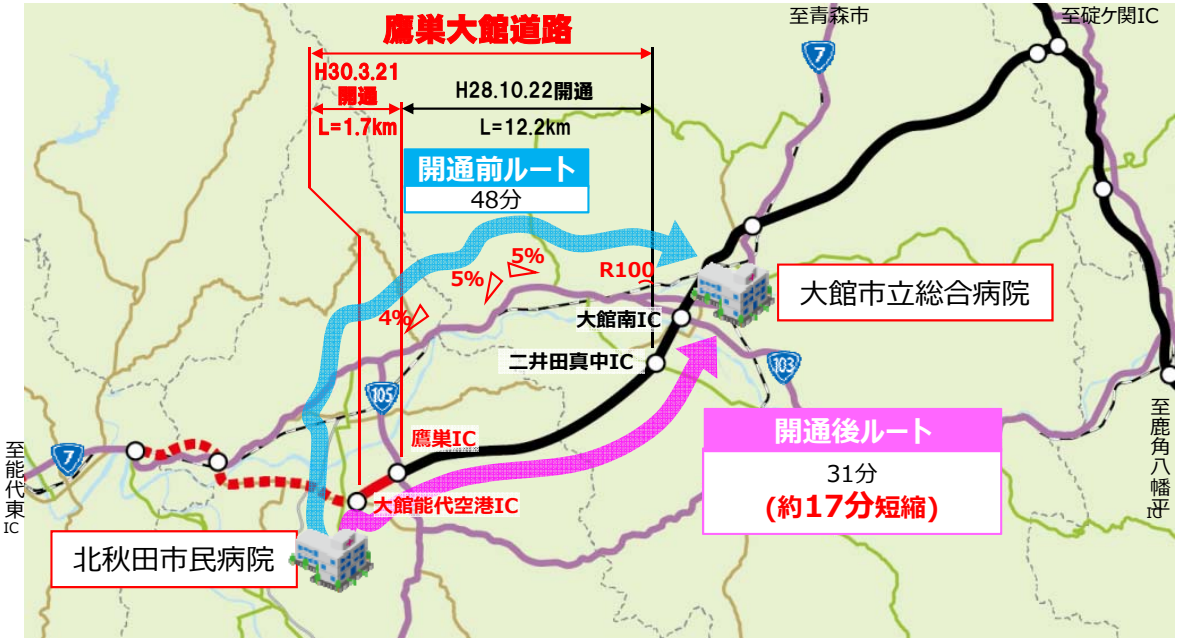


※１：ツアー企画の中心となるな観光地例
春）弘前桜まつり，秋）奥入瀬渓流 ，冬）阿仁の樹氷鑑賞

安定・迅速な救急搬送を支援

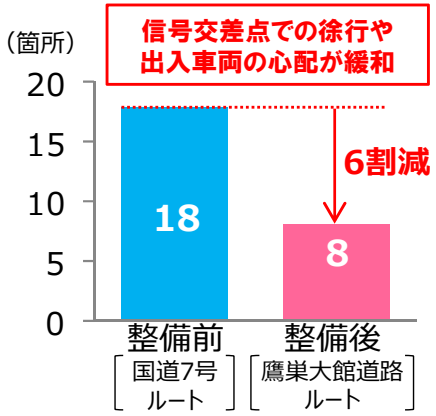
●北秋田市民病院では、搬送中の揺れや振動に特に注意の必要な脳疾患と外傷の管外搬送において、大館・弘前方面への割合が増加傾向。
●鷹巣大館道路の開通に伴う搬送時間短縮や走行時の安定性の確保（搬送中の揺れや振動の減少）により、脳疾患をはじめとする搬送患者の負担が軽減されており、今回の開通により更なる安定搬送への支援が期待されます。

■北秋田市民病院から大館市立総合病院への搬送時間の変化



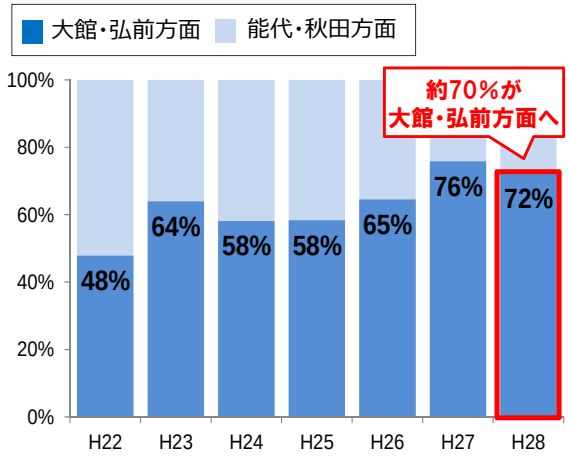
資料：北秋田市消防本部提供 【開通前：H28.4～10(開通前)、開通後：H28.10(開通後)～12の搬送データ】
所要時間：民間プローブデータ（H28.1～2 のデータを用いて開通前の時間を算出。開通後は鷹巣大館道路を70kmとして計算）

■搬送ルートの信号交差点数

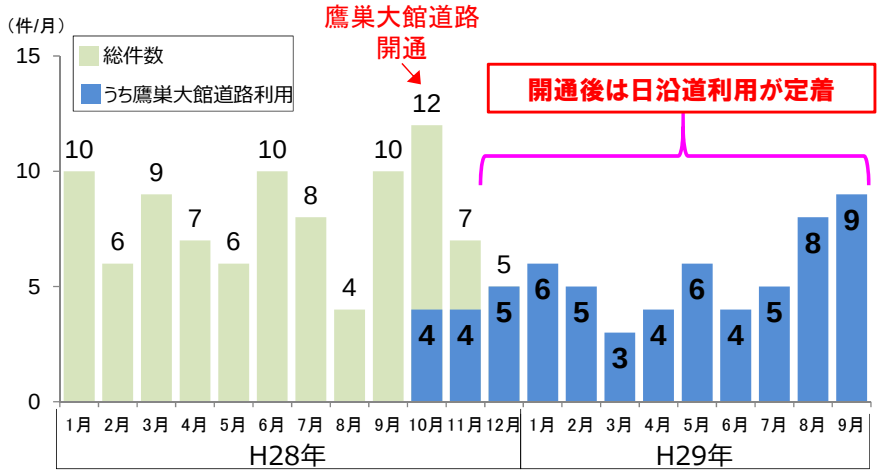


※押しボタン式、感応式を除く

■脳疾患・外傷患者の管外搬送先割合



■北秋田市から大館・弘前方面への道路利用状況



資料：北秋田市消防本部

・開通後は、**北秋田市民病院から大館市立総合病院への転院搬送に100%利用しています。**
・信号交差点での徐行や出入車両への心配が少なくなり、**搬送員の精神的負担も軽減**されています。
・**空港ICまで繋がればさらに効果があると期待**しています。
・脳疾患や外傷患者の搬送が多く、**搬送中の揺れや振動に、これまでは特に気を遣っていました。**
鷹巣大館道路は**安定走行できるので、患者への影響が小さく、より良い状態で搬送**できています。



（北秋田市消防本部／ H29.9ヒアリング）

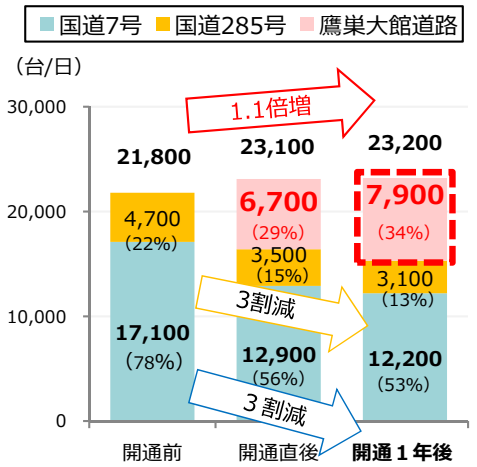
開通１年後の利用状況　＜交通状況＞

●開通1年後の交通量（平日）は約7，900台／日（断面交通量1．1 倍増）。大型車混入率も堅調に推移
●今回開通により国道7号の冬期の走行性が向上。既開通区間の交通量も増加（約1．1～3．6倍）

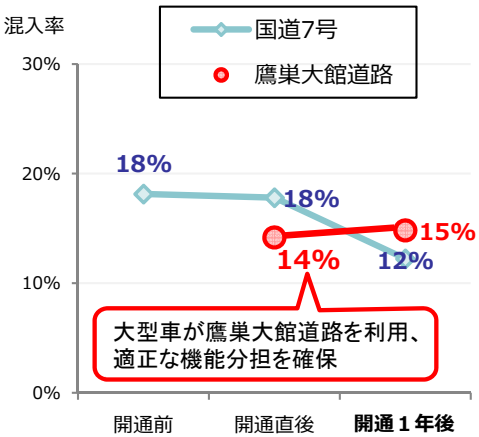


●開通後交通量は約7,900台/日(A-A断面交通は1.1倍増加)
●並行現道（国道7号、国道285号）は約3割減少
●大型車混入率は高規格道路が15%、国道7号は12%(6%減少)

■断面交通量の変化



■大型車混入率の変化



※交通量調査日　開通前:H28.9.27 (火) 、 開通直後:H28.10.25 (火) 、 開通1年後:H29.8.17(木)

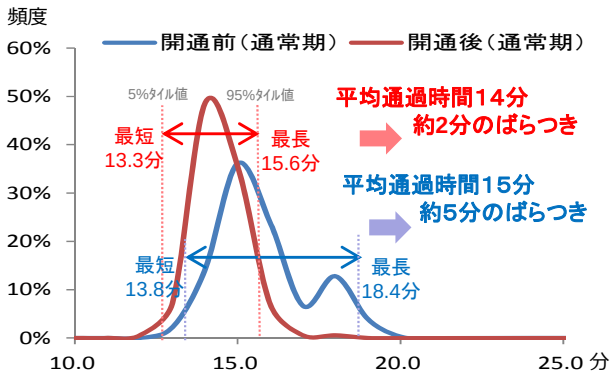
開通区間の交通状況



H29.10.26撮影

■国道7号の通過時間分布（大堤交差点～立花交差点）

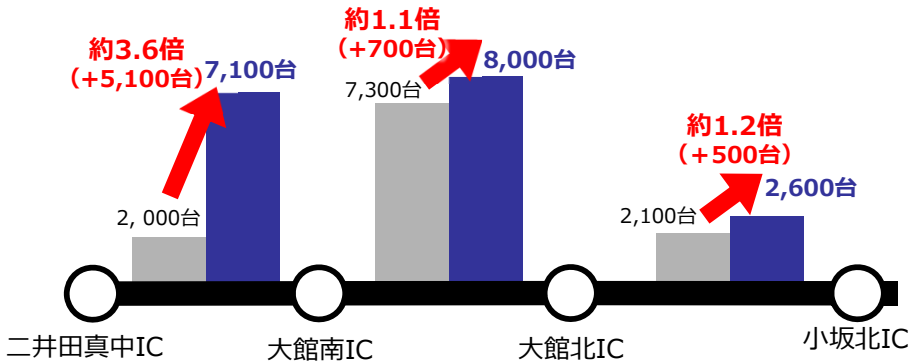
●国道7号の主要渋滞箇所では
定時性・信頼性が向上



※民間プローブデータ
開通前H27.11月、開通後H28.11月 の7～18時台・上下方向平均
速度値のうち、5%タイル値と95%タイル値の差をばらつきとして整理

■既開通区間の交通量の変化

●日沿道の延伸により、既開通区間の交通量が増加



■開通前平均　H27.10.26(月) ～ H28.10.21(金)
■開通後平均　H28.10.24(月) ～ H29.10.20(金)

単位：台/日
※交通量常時観測データ（平日平均）